

## 中東 -- IT化の進展と学術情報の流通 (特集 学術情報へのアクセス向上を目指して -- 機関リポジトリのいま -- 第II部 地域編)

著者	高橋 理枝
権利	Copyrights 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	162
ページ	33-35
発行年	2009-03
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00004803">http://hdl.handle.net/2344/00004803</a>

## 学術情報へのアクセス向上を目指して—機関リポジトリのいま

### 中東—IT化の進展と学術情報の流通

高橋理枝

#### ●インターネットの普及状況

機関リポジトリやオープンアクセスジャーナルが普及するには、ITインフラの整備と、それを使える能力をもった人材の確保が前提となる。

中東諸国におけるインターネットの普及状況には大きな格差がある。イラク、イエメン、アフガニスタンといった低開発国あ

るいは紛争を抱えた国のインターネット利

用者数は、一〇〇人当たり一人前後であるのに対し、カタルやアラブ首長国連邦は四〇〇〜五〇〇人、すなわち約二人に一人の割合でインターネットを使っている(表1)。

ITインフラの整備状況も国による差が大きい。例えば二〇〇〇年まで政治的な理由でインターネットが禁止されていたシリアでは、ITインフラの整備が立ち遅れて

いる。現在では街のあちこちにインター

ネットカフェができ、一応ADSLが導入されているが、そうとは思えないほど接続に時間がかかる。さらに個人宅ではダイヤルアップ接続が主流で、Yahooのトップページを表示するのにも五〜一〇秒程度は

待たないといけない。PDF化された論文をダウンロードしようものなら、場合によっては一時間待ち、挙句の果てに失敗することもままある。このようにITインフラの整備が進んでいない状況では、電子媒体による学術情報の発信や利用を進めることは容易ではないだろう。

これに対してアラブ首長国連邦では、日本とほぼ同じ速度でインターネットが利用でき、容量の大きいPDFのダウンロードにも問題はない。

#### ●中東諸国からのITを利用した学術情報の発信

世界各地の機関リポジトリが登録されているDB (OpenDOAR, ROAR) で検索してみると、残念ながら中東諸国の機関リポジトリはあまりヒットしない。トルコ

表1 インターネットの普及状況 (%)

インターネット利用者(100人当たり)	ブロードバンド加入者(100人当たり)		
国名	2007年	国名	2007年
イラク	0.95	イラク	...
イエメン	1.43	イエメン	...
アフガニスタン	1.84	イラン	...
リビア	4.36	アフガニスタン	-
スーダン	9.08	シリア	0.03
パレスチナ	9.52	スーダン	0.11
アルジェリア	10.34	リビア	0.16
オマーン	13.10	エジプト	0.63
エジプト	13.95	オマーン	0.78
チュニジア	16.68	アルジェリア	0.85
シリア	17.41	クウェート	0.93
ヨルダン	19.02	チュニジア	1.11
モロッコ	21.14	ヨルダン	1.45
サウジアラビア	25.79	パレスチナ	1.49
レバノン	26.28	モロッコ	1.53
トルコ	28.23	サウジアラビア	2.52
イスラエル	28.87	レバノン	5.26
クウェート	31.57	トルコ	6.08
イラン	32.30	カタル	8.37
バーレーン	33.22	アラブ首長国連邦	8.67
カタル	41.75	バーレーン	9.07
アラブ首長国連邦	51.59	イスラエル	22.06
日本	68.85	日本	22.10
世界	20.21	世界	5.41

(出所) [http://www.itu.int/ITU-D/icteye/Reporting/ShowReportFrame.aspx?ReportName=/WTI/InformationTechnologyPublic&RP\\_intYear=2007&RP\\_intLanguageID=1D/icteye/Reporting/ShowReportFrame.aspx?ReportName=/WTI/InformationTechnologyPublic&RP\\_intYear=2007&RP\\_intLanguageID=1](http://www.itu.int/ITU-D/icteye/Reporting/ShowReportFrame.aspx?ReportName=/WTI/InformationTechnologyPublic&RP_intYear=2007&RP_intLanguageID=1D/icteye/Reporting/ShowReportFrame.aspx?ReportName=/WTI/InformationTechnologyPublic&RP_intYear=2007&RP_intLanguageID=1) (2008/11/26アクセス)

表2 中東諸国のオープンアクセスジャーナル

国	大学名	雑誌名	公開年号	査読付	内 容	検索機能	URL	備考
サウジアラビア	King Faisal University	Scientific Journal of King Faisal University (Humanities and Management Sciences, Basic and Applied Sciences, Special Issueの3シリーズ)	2000-	○	要約、全文PDFのボタンがあるが作動せず。	あり	http://www.kfu.edu.sa/sjournal/eng/sjindex.asp	検索、ブラウジングの双方が可能。
	King Khalid University	ハーロド王大学雑誌(理論研究、科学研究の2シリーズ)(アラビア語)	2003-	○	要約	なし	http://www.kku.edu.sa/KKUMagazine/KKUMagazine/index.htm	
	King Saud University	Journals of King Saud University (Arts, Educational Social Sciences, Journal of Gulf & Arabian, Peninsula Studies, Languages & Translation)	?	?	要約	?	http://www.ksu.edu.sa/printpress/Journals.asp	全文はログインしないとダウンロードできない。
	Islamic University of Medinah	メディーナ・イスラーム大学雑誌(アラビア語)	2002?-	?	全文	あり	http://www.iu.edu.sa/Magazine/	主題、著者、全文検索などのツールが用意されている。
クウェート	Kuwait University	Journal of Law, Arab Journal of Administrative Sciences, Arab Journal for the Humanities, Journal of Social Sciences, Journal of Gulf & Arabian, Peninsula Studies, Annals of Arts & Social Sciences	1975-	○	要約	あり	http://pubcouncil.kuniv.edu.kw/English/publications.asp	大学の学術雑誌出版を管轄しているAcademic Publication Councilのウェブサイト。ここに各雑誌へのリンクがはられている。
カタール	Qatar University	STUDIESINBUSINESS AND ECONOMICS	2005?-	○	全文	なし	http://www.qu.edu.qa/business/research/collegejournal/issues.php	この他にはニュースレター類しか見つからず。
アラブ首長国連邦	Zayed University	LEARNING AND TEACHING IN HIGHER EDUCATION: Gulf Perspectives	2004	○	全文	なし	http://www.zu.ac.ae/lthe/	
		EPRU (ECONOMIC & POLICY RESEARCH UNIT) Working Papers Series	2005	×	全文	なし	http://www.zu.ac.ae/epru/workingpapers.html	
	American University of Sharjah (AUS)	Journal of Social Affairs	2001-2004	○	トップページのみ。リンク切れ。	?	http://www.aus.edu/journals/jsa/index.php	
		Review of Applied Economics (RAE):	?	○	要約	なし	http://www.aus.edu/journals/rae/index.pht	
		International Economics and Finance Journal (IEFJ)	?	○	要約	なし	http://www.aus.edu/journals/iefj/index.php	
	The University of Sharjah	UOS Journal of Shari'a & Law Sciences	?	○	要約のみのもの、全文PDFのものがある	なし	https://www.sharjah.ac.ae/English/About_UOS/UOSPublications/Sharia_and_Law/Pages/default.aspx	
UOS Journal for Humanities and Social Sciences		?	○	要約のみのもの、全文PDFのものがある	なし	https://www.sharjah.ac.ae/Arabic/About_UOS/UOSPublications/SciencesHumanities/Pages/default.aspx		
シリア	Damascus University	ダマスカス大学雑誌(人文・社会科学系は政治、人文科学、教育、経済の各シリーズ)(アラビア語)	1999-	○	全文	なし	http://www.damasuniv.shem.net/arabic/index_ar.htm	サイトの下部の「大学雑誌」(アラビア語)のボタンから雑誌の一覧ページにたどる。
	Tishreen University	Tishreen University Journal for Studies and Scientific Research- Arts and Humanities Series	2002-	?	全文	なし	http://www.tishreen.shem.net/new%20site/englishsite/art.htm	
		Tishreen University Journal for Studies and Scientific Research- Economic and Legal Sciences Series	2003-	?	全文	なし	http://www.tishreen.shem.net/new%20site/univmagazine/VOL292007/economy/1/ContEn.htm	
	alBaath University	アルバアス大学雑誌:人文科学(アラビア語)	2001-	○	要約	あり	http://magazine.baath.shem.net/article-topic-3.html	
ヨルダン	University of Jordan	Dirāsāt (人文・社会科学系はEducational Sciences, Human & Social Sciences, Shari'a & Law Sciences, Administrative Sciencesの4シリーズ)	1973-	○	要約	あり	http://darju.edu.jo/DirasatOnline/main.asp	Dirasat各シリーズの統合検索サイト。無料でアクセスできるのは要約まで。購読が必要。
	Mu'tah University	Mu'tah Journal. Humanities and social sciences series	2001-	○	要約のみ	なし	http://www.mutah.edu.jo/dar/hunj.htm	
		アラビア語とアラビア文学のためのヨルダン雑誌(アラビア語)	2005-	○	バックナンバーはリンク切れ。	なし	http://www.mutah.edu.jo/dar/jjour.htm	
アルジェリア	l'université de Batna	Revue des Sciences Humaines et Sociales	1994-	?	要約	なし	http://www.univ-batna.dz/revue-humain/revuesh/index.htm	

(注) 筆者が調査した範囲なので、網羅的なものではない。大学のホームページにリンクされているもののみ。各学部や研究センターのウェブサイトにも掲載されているものは調べていない。

の六件が比較的多く、他はサウジアラビア、アフガニスタン、イスラエル、エジプトが各数件ずつ登録されているのみで、いずれも主として科学分野である。

オープンアクセスジャーナルについては、登録件数は少し増えるようだ。世界各地のオープンアクセスジャーナルを登録したDOAJ (the Directory of Open Access Journals) で、中東諸国で出された人文・社会科学系の雑誌を検索すると、やはりトルコが多く一四誌、イスラエル四誌、イランが一誌となる。科学系まで含めるとエジプト、サウジアラビア、ヨルダン、アラブ首長国連邦、リビア、キプロス、モロッコの雑誌も登録されている。機関リポジトリ、オープンアクセスジャーナルともに科学分野でより発展していることがうかがえる。

ただしここで調べたDBは、いずれも作成機関または発見者の申請に基づいてデータを登録しているので、網羅的なものではない。また無料でアクセスできる学術雑誌でも、ISSNがない、検索ができない等の理由で採録対象外となっているものもある。例えば未登録のものとして、サウジアラビアのメディーナにあるイスラーム大学のサイト (<http://www.iu.edu.sa/Magazine/>) では、各号毎に論文を閲覧できるだけでなく、主題、著者、全文検索ができるようになってきている(表2)。またカタール大学経済ビジネス学部の発行する雑誌 (<http://www.qu.edu.qa/business/research/>)



## 学術情報へのアクセス向上を目指して—機関リポジトリのいま

collegejournal/issues.php) や、シリアのティッシュューン大学の雑誌 (<http://www.fishreen.shern.net/new%20site/englishsite/enterin.htm>) は、検索ツールはないが、一部のバックナンバーも含めて、全文がPDF形式で掲載されている。この他にも、全文は掲載されていないが要約のみを掲載している大学もある。またヨルダン大学の雑誌 *Dirasat* (研究) (<http://dar.ju.edu.jo/DirasatOnline/main.asp>) は、各シリーズ初号(早いものは一九七〇年代)から掲載されている。ただし残念なことに一般には要約までしか公開されておらず、購読しないと全文にはアクセスできない(そのためこれはオープンアクセスジャーナルとは呼べないが)。

大学発行の学術雑誌は、ウェブサイトに出版物ページがない場合、大学の研究方針の策定や雑誌の監修をしている研究評議会 (Research Council) や Research のページからアクセスできることが多いようだ。

### ●中東研究におけるITを利用した学術情報の流通の影響

中東諸国にある研究機関が作成するオープンアクセスジャーナルの恩恵は、おそらく地元の研究以上に、先進国にいる中東研究者が受けるであろう。研究機関が発行する雑誌等は市場で流通しないため、簡単には入手できない。アジア経済研究所図書館では現地の研究機関との雑誌の交換を

行ってきたが、交換の約束はしてくれても郵送料の高さが障壁となつてなかなか定期的にきちんと資料を送つてくれないケースも多い。こちらから送付している雑誌は先方に届いているので、現地に行くとき「よく来た」とばかりに歓迎され、未郵送のバックナンバーをどっさり持たせてくれるのだが、とにかく入手するには現地に出向くことが必要なのだ。

しかし少しずつではあるが中東のITインフラの整備に伴い、状況は変わりつつある。現在ではネット書店がいくつも設立され、日本にいながらアラビア語の資料を手でできるようになつてきている。ネット書店のラインアップはまだ限られた範囲にとどまっております、また研究機関でもウェブサイトは作ったもののメンテナンスがされておらず、いつまでも古い資料リストを掲載したまま、という例も多く見かける。しかし、前述したようにオープンアクセスジャーナルも作成され始めており、現地資料を手に入れにくかつた状況を一変させる可能性を秘めている。

もちろん先進国も含めた機関リポジトリやオープンアクセスジャーナルの発展は、中東にいる研究者にも大きな利益をもたらすだろう。中東でも大規模な図書館では、電子ジャーナルの導入が進んでおり、EBSCOやエルゼビア社といった電子ジャーナルの大手提供元と契約している図書館も多数存在する。しかし途上国の図書館に

とつて高額の雑誌購読料は、先進国以上に負担になるに違いない。図書館によっては、オープンアクセスジャーナルや無料で利用できるウェブ上の情報資源のリンク集を作る等の工夫をして、利用者の便を図っている。

途上国の図書館に対する先進国の支援も始まっている。例えばEUは、シリアの大学図書館に対して電子図書館機能を持たせるプロジェクトを実施している。これは大学の機関リポジトリやオープンアクセスジャーナルの構築支援ではなく、大学図書館で既存の電子学術情報を利用可能にしようとするプロジェクトである。しかし、やがて大学からの電子学術情報発信へとつながっていく第一歩となりうる可能性を持つものである。

機関リポジトリやオープンアクセスジャーナルの進展によって、先進国の研究者も地元研究者もより多くの資料にアクセスできる機会が増えることは間違いない。ひいてはこれが中東研究の発展に貢献していくことが期待される。もちろんそれら全ての前提として、ITインフラどころか生活自体を破壊してしまう紛争を終結させること、情報の流通に関する自由が保障されることが不可欠なのはいままでもない。

(たかはし りえ/アジア経済研究所 研究企画部)